

目録業務外注仕様書 モデル改善案

— 平成21年度NACSIS-CAT/ILLワークショップ

第1班	小澤 亜紀子	武蔵大学図書館
	佐藤 友治	文化女子大学図書館
	原 健治	同志社大学図書館
	八神 加奈	日本社会事業大学附属図書館
	渡邊 尚也	東京家政大学図書館

目録業務外注仕様書モデル

問題点

比較的詳細な仕様書モデル
しかし

目録の品質を維持するために足りない点がある

- ローカルルール（業務分析→委託範囲の確定）
- 資料種別毎の目録作成ポイント
→ 視聴覚、洋雑誌など
- レコード調整等内容記録の報告
- 業者の研修体制・スキルの保持
- 専門用語が多い→ 財務当局に分りにくい

改善案 1

項目2. 概要と目的

大学の理念、図書館の目標等

大学の業務を担っている責任

学部構成など（蔵書構成）

項目4. 委託資料

資料の種類：例示：形態（CD-ROM等）

年代（新刊・古書）

主な言語：わかっている範囲全てを

改善案 2

項目5. 作業期間

例えば：

新着図書 1ヶ月で納品

遡及入力

まとめて・分割で

引渡仕様の説明

改善案 3

項目7. 請負者に必要な実績・技術等

- ・ 大学図書館での実績
- ・ 自館の図書館システムへの理解
- ・ 作業従事者の異動があった場合
の引継ぎ体制
- ・ 常駐または常に連絡が取れる状況

改善案 4

項目8. 作業従事者に必要な技術・資格

- ・ 大学での目録経験
- ・ コンピュータ技能資格
- ・ 図書館検定
- ・ 主題に関する知識

項目12. 当館への報告義務

- ・ 詳細な統計
- ・ レコード修正内容（担当者名入）
- ・ 修正業務マニュアル

その他の改善案

3. 詳細仕様

Ⅱ 詳細仕様

1. 目録レコード登録にあたって

資料搬出等業務フローチャート

2-5. レコード調整


フローチャート

6. 作業場所・環境

控室やロッカー等

附属資料

大学側（財務等）への説明資料



ご清聴ありがとうございました。